

(別記)

## 令和3年度大玉村地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、水田面積に占める主食用水稲の割合が71%で、転作作物に占める割合としては飼料作物が多く、次にそば・野菜がある。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、非主食用米を含めた転作作物の作付の転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農業従事者の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られ、さらには、原発事故に伴う放射線対策ならびに風評被害の影響により、遊休農地の増加や、不作付地の拡大が進んでおり、こうした中、水田面積の維持が課題となっている。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

#### (1) 適地適作の推進

そば・大豆については、排水対策、土壌改良が重要であることから、村内のほ場条件等の検討を行い、そば・大豆の作付に適したほ場での作付推進を図る。

#### (2) 収益性・付加価値の向上

これまできゅうり等の推進を図ってきたが、今後も市場流通量が多く確実な所得確保が見込まれるため作付の推進を図る。

作付の推進に当たっては、市場や地元直売所での需要に応じ、作付の推進を図る。

#### (3) 生産コストの低減

飼料用米の収益を上げるには単収の向上、低コスト生産技術の導入や農地の集積・集約化が重要である。このため、直播栽培や疎植栽培等の生産技術の普及を図る。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

#### (1) 地域の農地の在り方

当村においても、水田農業における高齢化の問題があり、担い手の確保が急務となっている。主食用米では、大玉村産米ブランド化を推進しており、米どころとして水稲作付を維持していく必要がある。

しかし、主食用米の需要減が続いている状況もあることから、収益力の確保のため、きゅうり等の高収益作物を中心に畑地化を進めていく必要もある。

#### (2) 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

米どころとして、水稲作付を維持しつつ、畑作物が5年以上定着しているほ場について関係機関による点検を行い、点検結果を踏まえ、農業者を含めた話し合いを行い、次年度以降の畑地化支援の対象となるように進めていく。

## 4 作物ごとの取組方針等

村内の1,265ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、地域の水田農業の生産性の向上につながる作物生産の維持・拡大を図ることとする。

### （1）主食用米

売れる米の生産地として村産米地位の向上を図るため、大玉村産米のブランド化を推進する。

また、環境面にも配慮した、安心・安全・おいしい米の安定生産と品質向上を図り、食のニーズに対応した米の生産と安定取引を推進する。

なお、原発事故の影響による放射性物質の吸収抑制対策及びモニタリング検査を実施し、風評被害の払拭、信頼及び販路の回復を図る。

### （2）備蓄米

地域における水田面積の維持・拡大及び主食用米の需給調整に重要であるため、特に生産目安面積を超過して主食用米の作付をする生産者に対して取組を推進する。

### （3）非主食用米

#### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、産地交付金を活用し多収栽培技術等に取り組みとともに、多収品種及び特認品種の導入の推進を図り、地元の畜産農家との結びつきを強化しながら、令和3年度には50haまでの作付拡大を図る。

#### イ 米粉用米

該当なし。

#### ウ 新市場開拓用米

該当なし。

#### エ WCS用稲

地元の畜産農家との結びつきを強化し、産地交付金を活用し多収生産技術等の取組を推進し、令和3年度には1.7haまでの作付拡大を図る。

#### オ 加工用米

該当なし。

### （4）麦、大豆、飼料作物

麦については、JAとの契約に基づき、生産の推進を図る。

大豆については、JAとの契約に基づき、大豆加工業者の求める品質を維持するため、産地交付金を活用し、明渠・暗渠の施工等の排水対策、有機質施用による地力増進と中耕培土による生育促進等、適切な栽培管理に基づいた生産を推進し、令和3年度には4.2haまでの作付拡大を図る。

飼料作物は、地元畜産農家との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

### （5）そば、なたね

そばについて、地元食堂及びJAとの契約により、販路の確保を図る。

また、産地交付金を活用し、排水対策の徹底と、有機質施用による地力増進を推進し、令和3年度には20haまでの作付拡大を図る。

なたねについては、直売所等の販路を確保しながら、現行の栽培面積を維持する。

## (6) 高収益作物

### ア 野菜

経営安定を図るためJA及び行政が一体となり営農指導を強化し、産地交付金を活用しながら振興品目の維持・拡大を図る。

### イ 花き、花木

経営安定を図るためJA及び行政が一体となり営農指導を強化し、産地交付金を活用しながら振興品目の維持・拡大を図る。

### ウ その他

農業委員会と連携をとりながら振興品目の維持・拡大を図る。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	833.0	812.0	770.0
備蓄米	42.0	27.9	45.0
飼料用米	13.1	45.2	60.0
米粉用米	0.0	0.0	0.5
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.5
WCS用稲	0.4	0.7	2.2
加工用米	0.0	0.0	0.5
麦	0.0	0.0	0.5
大豆	2.7	4.2	6.0
飼料作物	140.0	138.5	150.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0
そば	19.0	20.0	25.0
なたね	5.6	5.6	6.5
高収益作物	33.2	33.8	40.5
野菜	13.4	13.7	18.1
・きゅうり	2.1	2.2	3.0
・トマト(ミニトマト含)	0.7	0.7	1.0
・なす	0.3	0.3	0.5
・ピーマン	0.1	0.1	0.2
・インゲン	0.2	0.3	0.5
・ねぎ	0.4	0.5	0.7
・アスパラガス	0.0	0.0	0.2
・にら	0.0	0.0	0.2
・春菊	0.3	0.3	0.5
・いちご	0.2	0.2	0.5
・きのこ類	0.1	0.1	0.5
・えだまめ	0.1	0.1	0.5
・すいか	0.0	0.0	0.2
・たらのめ	0.4	0.4	0.6
・その他野菜	8.5	8.5	9.0
花き・花木	11.6	11.7	12.7
・菊類	0.3	0.3	0.5
・リンドウ	0.1	0.1	0.2
・トルコギキョウ	1.5	1.5	2.0
・その他の花類	9.7	9.8	10.0
果樹	7.4	7.4	8.0
その他の高収益作物	0.8	1.0	1.7
・小豆	0.1	0.2	0.5
・えごま	0.7	0.8	1.2
その他	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.5

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	そば （基幹作物）	そば助成	10aあたりの単収 取組面積	(R2年度) 39kg/10a (R2年度) 11.7ha	(R5年度) 72kg/10a (R5年度) 22ha
2	大豆 （基幹作物）	大豆助成	10aあたりの単収 取組面積	(R2年度) 128ka/10a (R2年度) 1.9ha	(R5年度) 145kg/10a (R5年度) 5.0ha
3	飼料用米 （基幹作物）	飼料用米助成	10aあたりの単収 取組面積  60kgあたりの生産費	(R2年度) 698kg/10a（多収品種） (R2年度) 549kg/10a（一般品種） (R2年度) 13.1ha (R2年度) 13,400円	(R5年度) 740kg/10a（多収品種） (R5年度) 640kg/10a（一般品種） (R5年度) 60ha (R5年度) 10,000円
4	WCS用稲 （基幹作物）	WCS用稲助成	10aあたりの単収 取組面積	(R2年度) 6.5口-ル/10a (R2年度) 0.4ha	(R5年度) 8口-ル/10a (R5年度) 2.2ha
5	きゅうり・トマト・なす ピーマン・インゲン・ねぎ （基幹作物）	重点作物助成	作付面積	(R2年度) 3.5ha	(R5年度) 5ha
6	【野菜】 アスパラガス・にら・春菊 いちご・きのご類 【花き】 菊類・リンドウ トルコギキョウ （基幹作物）	振興作物助成	作付面積	【野菜】 (R2年度) 0.6ha 【花き】 (R2年度) 1.8ha 計 2.4ha	【野菜】 (R5年度) 1.2ha 【花き】 (R5年度) 2.4ha 計 3.6ha
7	【野菜】 えだまめ・すいか・たらのめ 【その他】 小豆・えごま （基幹作物）	一般作物助成	作付面積	【野菜】 (R2年度) 0.4ha 【その他】 (R2年度) 0.8ha 計 1.2ha	【野菜】 (R5年度) 1ha 【その他】 (R5年度) 1.9ha 計 2.9ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。